

□保証書・保証規定

保証期間	お買い上げ日より6ヶ月		
ご購入日	年	月	日
ご住所	〒		
お名前			
電話番号			
販売店			

- ※保証書の再発行はいたしませんので大切に保存して下さい。
- ※保証期間内に故障等にて無償の修理をお受けになる場合は、商品と本書にお買い上げレシートまたは領収書を添えてご依頼下さい。
- ※保証書は日本国内においてのみ有効です。

- お買い上げレシートまたは領収書を保証書と一緒に保管して下さい。通信販売にてお買い上げいただいた際は、レシートに代わるものとして、送り状・領収書・振込書等、年月日が記載されたものを必ず保管して下さい。これらをご提示いただけない場合は全て有償となります。
- 保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - (1) 使用上の誤りや、不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷、その他の天災等による故障及び損傷。
 - (4) 本書とお買い上げレシート又は送り状等の提示がない場合。
 - (5) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お電話番号、ご住所の記入がない場合、あるいは記入された文字を書き換えられた場合。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品の視認性等による事故について、当社では一切責任を負いません。

農機向けバックモニター 安心くん (形式 MN-1)



見えにくい所を安心くんで安全確認!!安心!!

トラクター コンバイン 田植機 軽車両 など

セット内容



防水性能 **IP67** (カメラのみ)

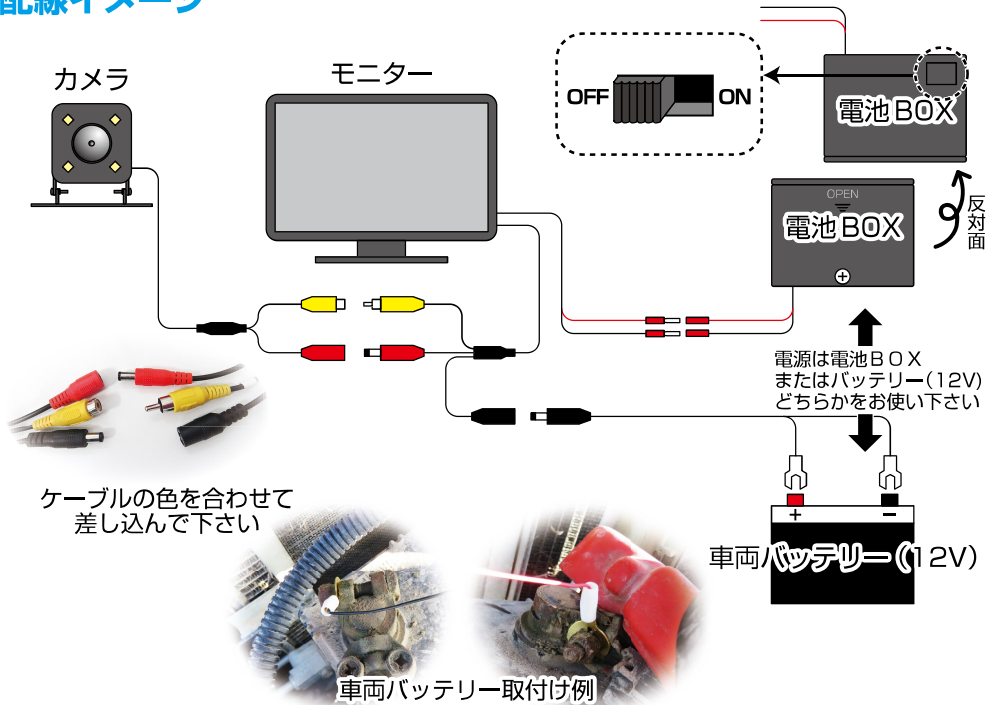
LEDライト **暗い所の視認性 良好**

2スイッチ **ON/OFFスイッチ 5分タイマースイッチ 消し忘れ予防に凸**

電源 **12V バッテリー** 又は **乾電池 単3アルカリ電池 6本**



配線イメージ



取付け手順例

① まずモニターとバックカメラ取付け予定の場所の汚れを取り除いて下さい。

設置場所の汚れ、油分を中性洗剤でよく拭取り、水拭きした後、乾いた布等で拭き、貼付けて下さい。モニターとバックカメラは取付けられている両面テープで固定します。汚れがあると接続が不十分で外れる場合があります。また粘着力が低下するため貼直しはできません。



※7cm×4cm以上の平面があるところに本製品のベース部分を貼付けて下さい。

② 電源を選んで下さい。 ※電池BOXを使用する場合はプラスドライバーを用意して下さい

バッテリーから電源を取る場合はバッテリーケーブルを接続してバッテリーに固定して下さい。

乾電池の場合は単3アルカリ乾電池6本をお客様で準備して下さい。プラスドライバーでフタを開け電池を入れて、フタを閉じて下さい。配線を接続して電池BOXのスイッチをONにして下さい。(電池BOXには両面テープは付いていません。お客様で取付け場所に合わせて固定して下さい)

③ 配線、モニター、カメラを取付けます。

取付ける機械に合わせて配線を行って下さい。熱を持つ部分(起動部やエンジン周り)、防水に気を付けて行って下さい。

取付けに問題があると、破損や故障の原因になります。

取付けには結束バンドやコードケーブル(ケーブルホルダー)などが便利です。

④ モニタースイッチを入れてカメラの写りを確認して下さい。



- 上のスイッチは1度押すと5分程度で自動的に切れます。
- 下のスイッチはON/OFFスイッチです。1度押すとON、もう1度押すとOFFになります。
- カメラは角度調整が可能です。ドライバーでネジをゆるめて調整し、位置が決まりましたら固定して下さい。
- カメラのライトは電源ON状態で常に点灯します。

⚠️ ご注意 必ずお読み下さい。

- 布地や植毛地、ガラスの断熱部分には貼付けできません。また本革、合成皮革、表皮が柔らかい場所に貼付ける場合は、本製品の粘着テープをはがす際、表皮が破損する恐れがあります。
- 電源の入れっぱなしには注意して下さい。バッテリー電源の場合はバッテリー上がりにつながります。乾電池の場合は連続4時間程度で電池切れになります。
- カメラは防水性能IP67ですが、他のモニターや接続部分、電池BOXなどに防水機能はありません。濡らしますと故障の原因になります。
- カメラが映し出す範囲は限られています。安全のためカメラ使用时も目視による安全確認を行いながら運転して下さい。
- 可動部への配線取付けは余裕をもって取付けて下さい。
- エンジン部など熱を持つ所への配線は避けて下さい。
- バッテリーの逆接、乾電池の逆向きには注意して下さい。故障の原因になります。
- 電源は12Vバッテリーもしくはアルカリ単3乾電池6本のどちらか一方でお使い下さい。
- 運転の妨げになる場所には取付けないで下さい。
- 本製品の視認性等による事故について、当社では一切責任を負いません。
- 事故の約40%はバック時です。